

七飯クラブの設立の中間報告を申し上げます。過日キーマンの方々にご参集頂きまして、色々話しあつて参りましたが、すでに、20名の会員の確保出来、ガバナーに連絡致しました所、4月18日に第一回会合を開き、発会式にしたらどうかと準備をして下さっておりますが、18日の日はとても第一回会合を開く見通しがついておらず、18日ガバナーご来函の折りは、その事を申し上げ、来月にでも、第一回会合を開きたいと考えております。

◎卓話 みどり学園の現況 笹島吉平氏

只今、ご紹介頂きました笹島でございます。本日の事を、あるロータリアンに相談致しました所、「みどり学園」の話をしたらよかろうと云う事で、お話しさせて頂きました。私のおる函館五稜郭病院は、社会福祉病院でございます。函館では、官公立病院にあつかつて頂いておりますが、その他法人で私立になります。

この私立の病院で、授業が出来、卒業できる施設を持つている所は、全国的に非常にめずらしいのです。私立・国立と云う形の施設は、全国にも少しはあります。どうしてみどり学園が出来たかですが、五稜郭病院は結核患者のみ、あつかつておりました。そこには、子供も入つておりましたが、当時、戦後で入院患者の質が非常に悪く、子供達への影響が強く、学校側からも、なんとかしなければと云う声が出ており、この施設の計画が進められて来たわけです。そこで、私にこの種の施設を持つている病院を見てこいと云う事になり、見学して参りました。

当時、柏野小学校の福士・川上両先生が、夜サービスで来てくれる事になり、だんだん始つて行つたのです。その後4年たつて、昭和35年になり、本格化しようとした時、役所は何時もそうですが、物事がうまく行つた後でなければ、とり上げてくれません。こう云う施設を作る場合、子供の数がないとかで、学校として認可出来ない。子供側からすれば認可があつて、授業してくれるのならば、入りたいと云うわけで、丁度、ワトリが先か、玉子が先かと云う事になります。

そう云う事で、何時になつても学校は出来ない。そこで、人も集めよう、授業も始めよう、と云う事になり、洞爺療養所でよくなつた先生方が5・6名おりましたので、五稜郭病院に移して頂き、授業を開始致しました。洞爺療養所には、大変お骨折りを頂いた訳です。又、当時の日教組の委員長である方にも、大変お世話になりせした。現在も、名前もよく知つておりますし、親しく付合つて頂いております。

当時は、小学校1クラス、中学校1クラスで、合計24名でした。五稜郭病院における私は、市内亀田の学童の結核の間接フィルムを見ておりますが、最近、非常に数が少なくなつております。そこで、フィルムが大変もつたいないので、心臓病の子供の発見に努力しておりますが、だんだん上手になり、みどり学園にも、その種の学童も多くなつております。現在は中学校3学級、小学校2学級で、4名・2名、合計6名の先生がおり、中学は五稜中の養護学級、小学は柏野小の養護学級となつております。児童は現在51名で、中学26、小学25名でございます。又、学校に入る前の子供も入つて来ておりますので、保母さんもおいております。

この4月からは、子供達が一日を終つて、淋しくなる5時~8時の間に、今度は悪い事をする者もおりましたので、退職の先生方をお願いして、生活指導をするように計画致しております。子供達は、函館の子が一番多く27名、亀田3名・戸井2名・福島2名・松前3名・鹿部2名・森2と利用町村が、非常に多くなつて来ております。開設11年間に22市町村から、324名におよんでおります。又、みどり学園の高校入学率は100%で高校へ入学するのならば、みどり学園からと云う人もおるくらいです。生活の費用は、ほとんどが公費で、医療保護・健康保険の場合は一部負担、しかし、この場合は児童保護法で負担致しております。又、今年は先生方、子供達に要望されている所の改築を行ないたいと思つております。さきごろ、このためのお金を札幌から頂いて来ております。競輪の上りだそで、4,500万円程でございます。しかし、少し手をかけると億のお金になります。頭のいたい所なのですが、私の話しが来年であれば、もつとよいお話が出来たものと思ひます

次回例会日 4月29日です。 *琴平体操会*

REVIEW AND RENEW (F・コンウエイR.I.会長)
再検討し 刷新しよう



1970. 5.6

1969~1970 第42号

第297回例会



菅原 靖 会員

本日のプログラム

“映画”

◎出席報告

45.4.22	会員数	46名	出席	35名	欠席	11名
前回出席	会員数	46名	出席	41名	欠席	5名
他クラブ状況	函館R.C.	90.09%	函館東R.C.	97.30%	函館五稜郭R.C.	100.00%

第296回例会記録

- ◎司 会 外山定男先生
- ◎斉 唱 手に手つないで
- ◎ピジター 小松 清君 (小樽南R.C. 保存食料品製造)
- 吉田錦栄君 (札幌R.C. 商工組合)

函 館R.C. 野口幸治君 外8名

函館東R.C. 出村喜作君 外10名

函五稜R.C. 前田憲司君 外2名

◎幹事報告

① 5月5日の函館東R.C.の例会は祝日につき休会です。

② 室蘭R.C.5月14日の例会は夜間例会として、17時於ニュープラザに変更

◎炉辺会合結果報告 塚田情報員長

日時4月15日PM5時半、於五島軒駅前支店、出席21名

① 五周年誌編さんのため会長、幹事歴代の座談会

新初代会長より、設立当時の会場選定の苦心談。船矢初代幹事の認証式時、一番大切な認証状を忘れた失敗談等各歴代会長幹事のエピソード、苦勞談で、當時を省て話に花が咲いておりました。

② 炉辺会合に入る

1. メイキャップの時の早退のタイミングそして講氏に対するマナーの問題

2. SAAの権限責任の問題

3. 奉仕の理想とは何か

4. ロータリー用語は英語が多いが我々のクラブに於いては、日本語を使うべきではないか

5. ニコニコボックスの資金の充実

6. アンケートを作り、ロータリーのわからない所を例会に於いて討議してもよいのじゃないか

以上問題点が多数上げられ、初春の一夜を8時15分迄熱心に討議し合う。

◎卓 話 内装材壁紙のはなし

吉井政嗣 会員

◎ロータリーの黎明

1905年2月23日の夜、道義の向上を目指すロータリークラブの第1号がシカゴに生まれた。その誕生はしかし決して華やかなものではなかった。その誕生に参加した同志はポールハリス。他は只3人にすぎなかった。その生まれた場所は唯1つの粗末な机と、4つの硬い椅子の置いてあった1鉱山技師の薄暗い事務室であった。その事務室の主人こそグスタブ・ローアであった。彼は1裁縫師であるハイラル・ショーレと雑談を交

していたが、やがて既に弁護士が過去数ヶ月にわたって披露していた新しいクラブの観念についてふれその夜再会を約して一旦別れを告げた。話題の若い弁護士こそ、ポールハリスであった。

2月23日集ったのが、グスタブ・ローア、ハイラル・ショーレシルベスタ・シールとポール・ハリスであった。シルベスタ・シールは石炭商で、シカゴR.C.の出来た時の初代会長となった人であった。

この集りで色々の懇談を、行い石炭商のシールは我々1人1人は他人の福祉に対し等かの考えを持つことが必要であろうといった。そこで、他人に対する思いやりの心を持つ人を集めようということになり、ここにロータリーが生まれたのである。この4人のうち最も推進力を持っていたのは、石炭商のシルベスタ・シールのものであったが構想者は、何処までもポールハリスであった。“忘れ得ぬロータリアン”に拠る

◎1970~1971 役員名簿

会 長	木屋守迪	副 会 長	塚田次郎	幹 事	平野義勝
副 幹 事	高杉重雄	会 計	福田哲郎	SAA	太刀三千吉郎
副 S A A	本間 隆	クラブ奉仕	塚田次郎		
出席委員会	委員長 神原金一				
	副委員長 山形清	山辺繁樹	川筋乙五郎	佐々木村名	推名
親睦委員会	委員長 下郡山信一				
	副委員長 野村宣市	関本宏	山形清	飯田貢一	森秀樹
雑誌委員会	委員長 岩塚陽一				
	副委員長 西村秀則	木村隆平			
会員選考委員会	委員長 深瀬鴻一郎				
	副委員長 森 正	山内一雄	新善次		
プログラム委員会	委員長 駒中幸一				
	副委員長 船矢健喜智	戸栗力	成沢善次郎		
広報委員会	委員長 西村秀則				
	副委員長 山内文雄				
クラブ会報委員会	委員長 木村隆平				
	副委員長 柴田良司	吉井政嗣	水谷善一		
職業分類委員会	委員長 杉本隆治				
	副委員長 宮崎英一	大井安磨			

ロータリー情報委員会 委員長 遠藤尚義
 副委員長 市川芳夫 船矢健喜智 高杉重雄
 会員スイセン委員会 委員長 成田勇司
 副委員長 神原金一 谷口勇 岩塚陽一
 社会奉仕 委員長 佐々木俊郎
 副委員長 岩塚陽一 森秀樹
 職業奉仕 委員長 角谷隆一
 副委員長 布目賢治 青柳喜一
 国際奉仕 委員長 外山定男
 副委員長 深瀬鴻一郎
 インターアクト 委員長 市川芳夫
 副委員長 宮崎英一 小村修平

以上来年度役員が決定致しました。

◎楽しく役立つ例会 中西進

ポール・ハリス翁はその昔、ロータリーの例会というものには「その会員独り独りが、その人分相応の職業奉仕なり、社会奉仕に心を致しながら人としての暖かい心と、そして美しい友情とに結ばれた、立派な人間のグループを作って行けるよう運営されたいものである」と強調されて居られましたが、昨今兎角く、一般社団法人の講演、午餐会のようにになりがちな例会を、何にか考えなおして行く可きではないかと、時に感じさせられることがあります。そこで「楽しく、役立つ例会」にするためには、次の4項を考えております。

1. 例会のムードとして、お互が打ち解け相談、話しが出来るよう、会場に食事の場として広いサルーンを希望される。
2. 若い会員の入会を、更に促進して、元気澁刺とした雰囲気、先輩会員を気分的に若返らすこと。
3. 炉辺会談の際、新入会員の家族共も、共に出席を厳しく促進して、ロータリーの真意を徹底して、より協力と理解を求むること。
4. 例会以外に小グループでも会員の工場見学、あるいは特殊ゼミナール、または、明るい宴席などの会合を持って、例会等での友情の結びの下地を作ること。

次回例会日 5月13日です。

REVIEW AND RENEW (F・コンウェイR.I.会長)
 再検討し 刷新しよう



第298回例会



菅原 靖 会員

本日のプログラム

「職場の人間関係」

北海道教育大学教授 坂東義教氏

◎出席報告

45.5.6 会員数 46名 出席 36名 欠席 10名
 前回出席 会員数 46名 出席 35名 欠席 11名 メーキャップ 10名 97.83%
 他クラブ状況 函館R.C. 90.08% 函館東R.C. 96.00%
 函館五稜郭R.C. 100.00%

第297回例会記録

◎司 会 外山定男会長 ◎斉 唱 君が代、奉仕の理想
 ◎ビジター 七飯仮クラブ 工藤君、池田君、遠藤君、
 函館R.C. 川守田勘三君 外16名
 函館東R.C. 飯田貢一君 外6名